

## 第1学年〇組 道徳学習指導案

指導者 ○〇 ○〇

- 1 主題名 さいごまでがんばる心 低学年1ー(2) 勤勉・努力  
資料名 「わきだしたみず」 (光文)

### 2 主題設定の理由

○ 本学級の児童は、学校生活にも慣れ、ひらがなや計算などの学習や給食当番、係や清掃活動と  
いろいろな場面で頑張りを必要とされるようになり、努力をする姿も見られるようになってきて  
いる。しかし、努力を続けることはなかなか難しく、つい怠け心に負けてしまい、安易な道を選  
んでしまう児童もいる。そうすると、再び努力を繰り返すというのは一層困難になると思われる。

そこで、粘り強さや頑張りが必要となってくるこの時期に、くじけそうになっても自ら自分の  
弱い心に呼びかけて、最後まで努力しようとするこの大切さに気付かせることは意義深いと思  
える。

○ 本主題は、「自分がしなければならない仕事は、苦しいことがあっても、最後までしっかりと  
やりぬく態度を養う」ことを主なねらいとしている。自分で一度やろうと決めたことは、苦しく  
てもくじけることなくやり遂げるということは、どんな場合でも大切である。学習活動や、当番、  
係活動などにおいて、真面目に最後までやり遂げることで、達成感や満足感を味わうことができ、  
頑張った自分に気付くことができる。

そこで、自分がやらなければならない勉強や仕事を通して、勤勉・努力の大切さに気付かせ、  
日常の小さいことでも、真面目に努力を積み重ねていく態度を、低学年から確かに身に付けてお  
くことは大変意義深いと考える。

○ 本資料は、日照りで苦しんでいる魚たちに出会ったかにかが、苦心の末に池に水を引いて魚たち  
を助けるという内容である。困っている魚たちのために、苦勞して掘り進むかにかの姿と、魚の喜  
びを目にしたかにかの心情に共感させることによって、ねらいに迫ることのできる資料である。

本時指導に当たっては、魚たちを助けるために、苦しくてもただひたすら休まずに水に向かっ  
て掘り進むかにかの気持ちを、動作化をしたり、表情図を表したりしながら考えることで、ねらい  
とする価値に迫っていきたい。導入では、事前調査をもとに、今までにやろうと決めながらも、  
最後までやり抜くことができなかったことを紹介し、主題に対する方向付けとする。展開1では、  
資料の内容をより深く把握させるために、黒板のほとんどを絵物語として活用し、場面ごとにか  
にかのペープサートを操作しながら考えさせる。また、児童にかにかの面をつけて動作化をさせるこ  
とで、かにかの心情に迫らせたい。かにかが魚のために必死に努力するという価値を、石にぶつかっ  
てもくじけず、回り道しながら、三日間、休まずに掘り進めていく様子を動作化するなかで、自  
分だったらどうするか考えさせる。石にぶつかったときや水を引き当てたときのかにかの顔を表情  
図や道徳ノートのさし絵に表し、児童自身も表情をまねることで、かにかの気持ちに迫ることが  
できると考える。展開2では、自分の生活を振り返り、これまで頑張ったことや今頑張ってい  
ることを想起させ、苦しくても最後までやり抜く価値を内面的に自覚できるようにする。終末で  
は、教師の話聞くことで、ねらいとする道徳的価値に対する意識の継続を図る。

### 3 本時のねらい

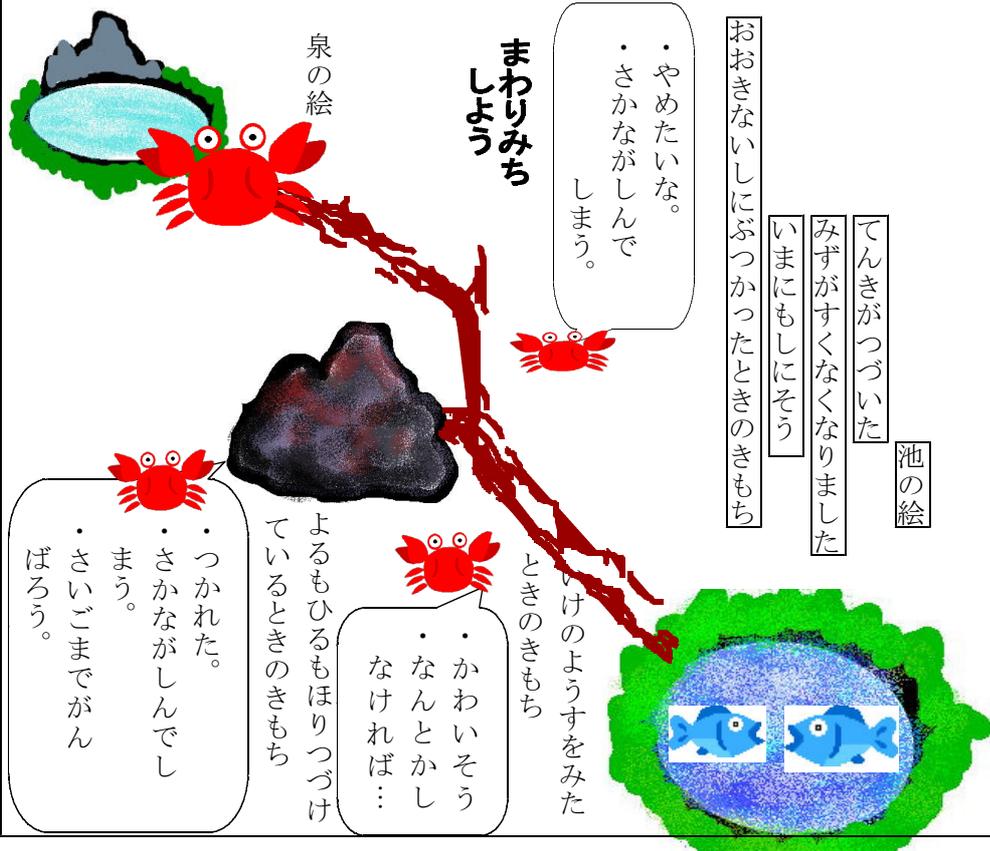
自分がしなければならないことは、苦しいことがあっても最後までしっかりと頑張っ  
てやり抜こうとする態度を育てる。

- 4 本時 平成21年11月25日(水) 第5校時 第1学年〇組教室に於いて

- 5 準備 魚、かにかのペープサート、池と泉の絵、岩の絵、子どもたちが顔を描き込むためのかにか  
を印刷したもの、道徳ノート

6 展開

段階	学 習 活 動	教 師 の 支 援
導 入	<p>1 決心したことがやりとおせなかったアンケート結果を聞いて、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎日、風呂掃除を続けられない。</li> <li>・ 毎日続けるのはきついから。</li> </ul> <p style="text-align: center;">めあて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">くるしくてもさいごまでがんばるころについてかんがえよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の方向付けをするために、これまでに最後まで取り組めなかったことを事前調査し、発表することで、児童の共通体験ととらえさせる。</li> <li>○ なぜ続けられなかったのか考えさせる。</li> </ul>
展 開 1	<p>2 資料「わきだしたみず」の話を聞き、かにかの気持ちについてを話し合う。</p> <p>(1) 「これはたいへんだ。」といったときのかにかの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ かわいそう。</li> <li>○ このままでは魚が死んでしまう。</li> <li>○ 池に水を引こう。</li> </ul> <p>(2) 大きな岩にぶつかったときのかにかの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 疲れたよ。やめようか。</li> <li>○ 魚を死なせたらいけない。</li> <li>○ まわりみちをしよう。</li> </ul> <p>(3) 回り道をして掘り続けているかにかの気持ちを考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">よるもひるもやすみなしでほりつづけるかには、どんな気持ちでしょう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 眠い、腕が痛い、疲れた。</li> <li>○ もうやめたいな。</li> <li>○ ここでやめたら魚たちが死ぬ。</li> <li>○ もう少しだ。がんばるぞ。</li> <li>○ 最後まで頑張ろう。</li> </ul> <p>(4) 泉まで穴を掘り通し、こいやふなの喜ぶ様子を見ているかにかの気持ちを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 頑張って良かった。</li> <li>○ 魚さんが喜んでる。嬉しいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 魚やかにかのペープサートを用意し、場面に合わせて操作する。</li> <li>○ かにかの心情に迫りやすくするために、面をつけさせる。</li> <li>○ かにかの魚に同情する気持ちから、何とか助けたいという気持ちに徐々に高まっていることを押さえる。</li> <li>○ 「かにか」の気持ちを共感的に理解させるために、水を引くために穴を掘る動作化を一斉にさせる。</li> <li>○ 少しずつ掘り進む穴を視覚的にとらえられるように掲示していく。</li> <li>○ 大きな岩にぶつかったときのかにかの顔を描かせ、顔まねをさせた上で気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 水を引くために穴を掘る動作化を一斉にさせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3日間も寝ないで掘り続けているかにかの行動を押さえ、疲れ切った体で頑張るかにかの気持ちを考えさせる。</li> <li>○ 価値に迫らせるために意図的指名を行う。(あきらめ→生命尊重→努力)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水がでる様子を視覚にとらえやすいように青いナイロンテープを勢いよく引き出す。</li> <li>○ 穴が泉に届き、こいやふなが飛び上がって喜ぶ姿を見ているときのかにかの気持ちを考えさせる。</li> </ul>
展 開 2	<p>3 自分の生活を振り返り、最後まで頑張ったことを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の経験を想起しやすくするために、やり遂げたことの事前調査をしておく。</li> </ul>
終 末	<p>4 教師の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体験を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ くじけそうになりながらも頑張つてやり遂げ、自信を得た体験を紹介することで、最後まで頑張ろうとする意識の継続を図る。</li> </ul>



泉の絵

池の絵

まわりみち  
しよう

・やめたいな。  
・さかながしんで  
しまう。

・つかれた。  
・さかながしんでし  
まう。  
・さいごまでが  
ばろう。

よるもひるもほりつづ  
けているときのきもち

かわいそう  
・なんとかし  
なければ：

いけのようすをみた  
ときのきもち

アンケートの結果

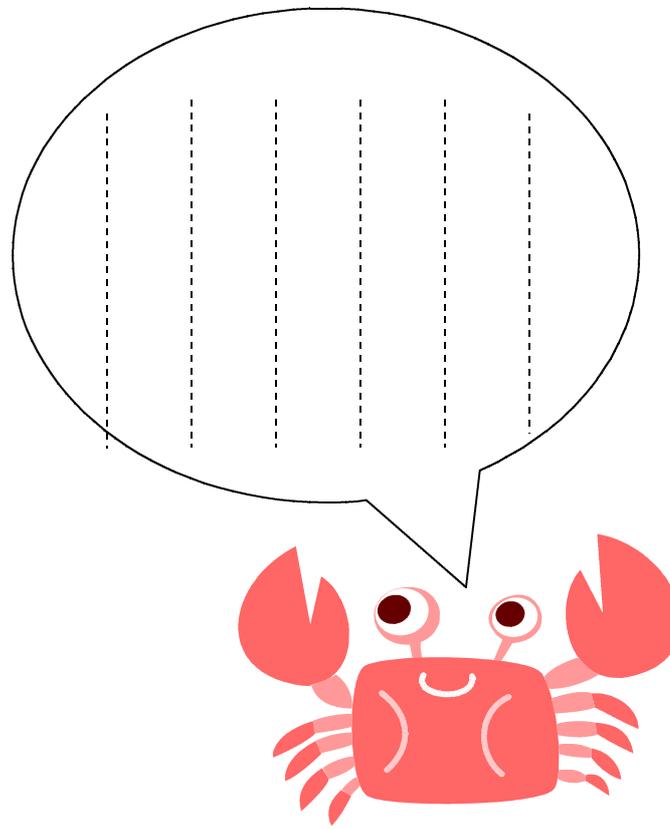
めあて

くるとしてもさいごまでがんばるころについてかんがえよう

わきだしたみず

てんきがつづいた  
みずがすくなくなりまし  
いまにもしにそう

とおきないしにぶつかつたときのきもち



「わきだしたみず」

☆よるもひるも、やすみなしにほりつづけた  
ときのかにさんは、どんなことをかんがえて  
たでしょう。

1年〇組なまえ( )